

》商工会議所活用レシピ

FILE | 22

郷土料理の素晴らしさを多くの人に
プロジェクト参画で知名度アップ



みそぼと本舗有限公司
代表取締役
新井 広幸 さん

当社は、昭和61年に設立した食品製造会社です(当時・デリカふあみりい)。もともと、父親が精肉店を営んでいたのですが、大型スーパーマーケットの総菜コーナーにも出店することになり、独立してこの事業を始めました。

店頭では、総菜や弁当のほか、秩父の郷土料理「みそポテト」も販売していました。これは、ふかしたジャガイモに衣を付けて揚げた後、特製の甘みそをかけて食べるもので、地元では、不動の人気を誇っています。ところがある日、市外から来たお客様が、「これ、何?」と聞いている姿を見て、「みそポテトを多くの人に知ってもらいたい」と思うようになりました。次第にこの気持ちが強くなり、

市外への売り出しを決意。ただ、当時はすぐに店頭で並べる冷蔵用のものしかつくっていなかったため、冷凍保存できる商品を開発し、地道に販路を拡大していきましました。しかし、やはり1店だけではPRにも限界があり、知名度アップにはつながりませんでした。

そんなとき、秩父商工会議所が郷土料理の素晴らしさをたくさんの人に知ってもらおうと「ちちぶの和点心 小昼飯プロジェクト」を始めたことを知り、早速、加盟しました。このプロジェクトを通して、さまざまなイベントに出店。特に、2日間で10万もの人が来場した「秩父はんじょう博」では、いまままで食べたことがなかった人にこのおいしさを味わってもらえただけでなく、地元

の人にも、これが秩父ならではの伝統料理である、と再認識してもらった良い機会になりました。

また、いまや全国で大ブームを巻き起こしている「B級グルメ」にも着目。みそポテトをこれに位置付けることで、注目を集めることができるのではと考え、商工会議所の紹介で、昨年11月に「埼玉B級ご当地グルメ王決定戦」に参戦しました。結果は、県内各地の逸品を抑え、見事に優勝。このことをきっかけにメディアなどにも取り上げられ、反響を呼んでいます。さらに、自社の売り上げもアップし、以前と比べて注文数は2倍以上になりました。これからも、商工会議所とともに力を合わせて、「みそポテト」のおいしさを全国に発信していきたいですね。

ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ

担当者からひと言



秩父商工会議所(埼玉県)
中小企業支援課主事
木村 悠一

当所では、農作業の合間など、小腹がすいたときに食べられるいた料理「小昼飯」を復活させ、新たな観光資源として売り出そうと、平成19年度に13品目の料理を選定し、「ちちぶの和点心 小昼飯プロジェクト」をスタート。4年目を迎えた現在、加盟店は43社にも上っています。

プロジェクトでは、マップの作成やイベントの開催などを行っています。これらはすべて、加盟店の協力なしには実施できません。中でも、発足当時から、精力的に活動していただいている新井さんの存在は、本当に励みになります。

今後は、まだ加入していない企業にも、積極的にこの事業に参画してもらい、地域一丸となつて、まちを盛り上げたいです。